

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	新原 道信		
NAME	Michinobu Niihara		

1. 研究課題

(和文) “社会文化的な島々” から見た 〈基地〉 の “比較学”

(英文) "Comparatology" of 〈Base〉 from the Vision of "Socio-cultural islands"

2. 研究期間

1年間 (2018 年度)

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

本調査研究は、申請者が1980年代以降すすめてきたイタリアとの共同研究の理論的成果である“社会文化的な島嶼性論(visione di insularità socio-culturale)”——都市・地域を構成する異なる集団・個々人を“島々”として捉え、その内なる差異性と特殊性が“衝突・混交・混成・重合”するうごきのプロセスを把握する理論と方法に基づき、〈基地〉をめぐる問題の本質を考察することを研究目的としていた。

ここでの〈基地 base,camp,installation〉とは、国家や地方自治体が計画・政策的に設置する巨大な施設(拠点)のメタファー(仮設概念)である。それゆえ、軍事施設のみならず、核施設、空港、清掃工場・最終処分場、下水処理場、火葬場、食肉処理施設、石油備蓄基地など、「迷惑施設(NIMBY)」と称される施設が含まれる。

本調査研究は、①特定の地域社会・場所が〈基地〉の候補地として選択される場合、そこにはいかなるメカニズム・構造的要因が働いているのか、その条件の析出する。②「迷惑施設(NIMBY)」と称される施設が建設される地域・場所の固有性(差異性と特殊性)の研究を行い、①と②それぞれについて、『中央大学社会科学研究所年報』において成果を公表した。

(英文)

This research is a theoretical outcome of the Vision of "Socio-cultural insularity: comprehending the different groups / individuals as "islands" and understanding the process of movement in which the inner differences and specificities "collide, mix, and polymerize." In this research, when a specific community or place is selected as a candidate site for "base (*)", we clarified what structural factor is working. Research results will be published in *The Annual Bulletin of The Institute of Social Sciences Chuo University*.

*. Not only military facilities, nuclear facilities, airports, cleaning plants and final disposal sites, sewage treatment plants, cremators, meat processing facilities, oil stockpiling bases, ecc.